



教育研究委員会 講演・出版等企画小委員会から

九州大学大学院人間環境学研究院 教授
日本心理学会教育研究委員会 講演・出版等企画委員会 委員長
箱田裕司 (はこだ ゆうじ)

公益社団法人日本心理学会教育研究委員会講演・出版等企画小委員会の委員長の箱田です。この小委員会では、公開シンポジウムの企画と実施を行っております。本稿ではその紹介をしたいと思ひます。

平成 24 年度の実績

以前より長い間、公開シンポジウムを企画実施しておりましたが、昨年度からこれを組織化しようということになり、〈社会のための心理学シリーズ〉と〈基礎心理学の展開シリーズ〉に大別し、実施するようになりました。さらに、高校生の段階から「科学としての心理学」を理解して頂き、エビデンスに基づく科学的思考を育てるという狙いから、高校生及び高校で心理学を教えたいと考えている高校教員を対象に、〈高校生のための心理学講座シリーズ〉を開講しました。以下、昨年度の各シリーズの概要について説明します。

社会のための心理学シリーズ

東日本大震災と原発事故以降、科学は社会のために何ができるのかが厳しく問われております。心理学でもこのことを考えざるを得ません。〈社会のための心理学シリーズ〉では、心理学の様々な領域で社会のためにあるいは人々のために心理学がどのような貢献ができるかを考えたいと思ひます。平成 24 年度に実施したシンポジウムのテーマは次の通りです。

- 「負の連鎖を断ち切ることはできるか？ — 児童虐待からの再生 —」(仁平義明・内田伸子企画) 東京、京都開催 (図 1 参照)

図 1 2012 年の公開シンポジウム「負の連鎖を断ち切ることはできるか」

- 「風評被害の心理学」(仁平義明企画) 福岡、福島開催
 - 「犯罪と被害防止に貢献する心理学」(箱田裕司企画) 京都、東京開催
 - 「自分らしく生きるための絆をもとめて — 生涯発達心理学への招待 —」(内田伸子企画) 第 76 回日本心理学会大会時開催
- 基礎心理学の展開シリーズ
心理学という言葉を目にした人が想像する心



Profile — 箱田裕司

九州大学大学院人間環境学研究院教授。1972年、九州大学文学部心理学科卒業。1977年、九州大学大学院文学研究科博士課程心理学専攻単位取得満期退学。文学博士。専門は認知心理学、研究テーマは人間の記憶や注意過程の基礎的メカニズム、認知の個人差、顔の表情認知、目撃者の記憶など。著書は『認知の個人差（現代の認知心理学7）』（編著、北大路書房）、『認知心理学』（共著、有斐閣）、『嘘とだましの心理学』（共編、有斐閣）ほか多数。

理学と、科学としての心理学の姿がずれていることが多々あります。〈基礎心理学の展開シリーズ〉（杉山尚子企画）は、基礎心理学で見出された科学的知見を分かりやすく講義するものです。

平成24年度に実施したシンポジウムのテーマは次の通りです。

■「心理学における動物実験の実際 — 動物実験の供覧、ビデオ鑑賞、実験シミュレーションを含む —」（磯博行企画）兵庫開催

■「選択の科学 — 心理学から見た行動経済学 —」（坂上貴之企画）東京開催

高校生のための心理学講座シリーズ「心理学と社会：心の不思議を解き明かす」

全国7地域8カ所、北海道（北海道大学）、東北（東北大学）、関東Ⅰ（十文字学園女子大学）、関東Ⅱ（白鷗大学）、中部（名古屋大学）、関西（同志社大学）、中国・四国（広島大学）、九州・沖縄（西南学院大学）で開催しました。各会場では、2日間にわたり、1日3名計6名の講師が心理学の代表的領域、心理学研究法、知覚心理学、発達心理学、社会心理学などについて概説、講義を行いました。それぞれの会場の持ち味を出した興味深い構成となりました。

平成25年度の計画

本年度の公開シンポジウムは、昨年度と同様の〈社会のための心理学シリーズ〉、〈基礎心理学の展開シリーズ〉に加えて、〈高校生のための心理学講座シリーズ〉の成人版を企画することになりました。それが〈心を科学する心理学シリーズ〉です。昨年度の〈高校生のための心理学講座シリーズ〉には成人の参加者も少なからず見うけられ、潜在的ニーズは高いと考えら

れたからです。

そして本年度も昨年度と同様に〈高校生のための心理学講座シリーズ〉を開講しますが、多くの参加者の希望に応じて、開催地を増やしました。関東地区としては白鷗大学、東京大学、新潟大学において開催し、中部地区は愛知淑徳大学と金沢大学で開催します。九州・沖縄地区では西南学院大学に加えて、久留米大学と琉球大学でも開催します。

〈高校生のための心理学講座シリーズ〉の詳細についての情報は日本心理学会のホームページをご覧ください。本年度から新たに実施します〈心を科学する心理学シリーズ〉（池田まさみ企画）については、筑波大学東京キャンパスと名古屋大学で開催が予定されています。

なお、〈社会のための心理学シリーズ〉は4件各2会場で開催されています。それぞれのタイトルと企画者は「負の連鎖を断ち切るには」（内田伸子企画）、「医療現場における心理学」（井村修・丹野義彦企画）、「教育現場における心理学」（市川伸一・大坪治彦・箱田裕司企画）、「裁判員制度をめぐる心理学的諸問題」（箱田裕司・仲真紀子企画）です。いずれも、日本学術会議心理学・教育学委員会に属する分科会との共催です。

これらの公開シンポジウムは、会場での反響を見ながら、また企画者、シンポジストの意向を考慮しつつ、印刷物として公刊すべきものは、出版物として世に出す方向で委員会において検討したいと考えております。